

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2018年1月第425号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>

「新年のご挨拶」

教会委員長 山本 一孝

新年明けましておめでとうございます。

年末年始、皆さんはどのように過ごされたでしょうか？

家族揃って楽しく過ごされた方も多いと思います。しかし、近年、自然災害が増えている中で、いまだ家に帰れず仮設住宅で1人新年を迎えた方も沢山いらっしゃいます。今年で阪神大震災は23年目、東日本大震災は7年目、広島土砂災害は4年目、熊本地震は2年目、去年は7月に九州北部豪雨です。なぜ天災が起こるのでしょう。

マリア・ワルトタの「神と人なるキリストの詩」のなかで、「それは人がおごり神の存在を忘れない為である」と書かれています。天災を通じて人の命の尊さ、儚（はかな）さ、無力さを感じます。そして、「戦争・暴力」についても「なぜ神の名で行っている戦争や暴力は起きるのでしょうか。それは神の名を騙（かたり）“人間”が行っていることです」と。また「世界の国や民族にとって文明がどんなに発展（どんなに便利な世の中）しても、本当の人の幸せにはならない」とも言っています。

私たちに“神に立ち返りなさい”とのメッセージなのではないでしょうか。

新年を迎えるにあたり、ある言葉が思い浮かびます。それは、「面倒くさい」。つい私たちの口からふと出てしまう言葉です。青森弘前にある「森のイスキヤ」（人生に疲れた人や心を病んだ人をひととき受け入れている）を主宰していた佐藤初女さんの本で「おむすびの祈り」というのがあります。冒頭に。「“面倒くさい”っていうのが一番いやなんです。ある線まではだれでもやること。そこを一步越えるか越えないかで、人の心に響いたり響かなかったりすると思うので、このへんでいいだろうというところを一步、もう一步越えて」とあり、衝撃を受けた私は20年程前に森のイスキヤに訪れました。10人以上座れる大きな円卓を囲み、おむすびを習い、食事をしたことを思い出します。そこには、誰をも迎え入れてくれる温かさがありました。訪れたことがある司祭は「イエスを囲んで疲れた人々が集まったら、おいしいパンがあふれ、皆共に食事して仲間になったという、教会の原点を思わせます」と話されていました。この富士吉田教会でもミサという主の食卓に多くの方たちが集まり、またこの1年を皆さんと共に過ごすことができますよう、今年も主に信頼してまいります。





平成30年 新年の慶び

サレジアン・シスターズ山中修道院
シスター 里脇福代 フランシスカ

新年おめでとうございます。よき初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

梅村司教様のご訪問を心待ちしていらっしゃる皆さまにとって、さらに新たな喜びと希望に満ちた年でありますようにお祈り申し上げます。

富士吉田教会の皆さまの信仰家族に温かくお迎えいただき、お陰様でいよいよ三年目を歩き始めます。サレジアンらしくないのですが、あまり社交的ではなく、人見知りする傾向のある私にとって、これは何よりも嬉しいことです。

この一年、ほとんど毎週日曜日、森田神父様による修道院のミサにあずかり、朝食をすませ、富士吉田教会でまた森田神父様によるミサにあずかりました。そして小さき花幼稚園の園舎をお借りし、教会学校のリーダーや子どもたちと一緒に午前中を過ごしました。これに合わせてご復活祭の受洗式、教会のこれからを生きて行く子どもたちの初聖体があり、個人的な用件等を合わせると、山中湖村に住んでいながら富士吉田教会の皆さんのもとへ伺うことが中心で、1年365日の三分の一近く教会へ参りました。いつのまにか通いなれた道になったような気がします。

現在私が住んでいる山中の自然環境は、当然ながらいろいろな点でかつて長年過ごしたそれとは異なるということもあり、早く慣れたい、分かりたい、共感したいと少しの焦りがありました。こうした中、心から自分のこととして誇りをもって言えることを沢山見つけました。それは素晴らしい自然の美しさです。神さまをととても身近に感じるよう助けてくれます。その一つに、澄み切った広い夜空にきらめく満天の星があります。とても近くに見え、手が届きそうに感じます。夏の天の川、冬の北斗七星に自然の偉大さと神秘があります。でも心打たれるのは無数の小さな小さな星です。見飽きることはありません。そして思い浮かべるのは、神さまがアブラハムに星空を見上げるよう家の外に出るよう招かれた時のことです。

「主は彼を外に連れ出して言われた。『天を仰いで、星の数を数えることができるなら、数えてみるがよい。』そして言われた。『あなたの子孫はこのようになる。』アブラハムは主を信じた。」(創世記15章5節—6節)

その日からカナンの夜空に輝く星は、アブラハムにとって、主の約束を思い、信じ、希望する大切なしるしとなりました。サラと営む家庭に祝福を届ける子どもが欲しかったアブラハムです。神さまは、二人のこのささやかな幸せを計らわれましたが、また人間と分かち合うご自分の幸せを心に描いておられました。聖書は神さまのことばですから、神さまの考え方、感じ方を知ることができます。

でも、どうして神さまは夜空に輝く星をお使いになられたのでしょうか。星は、主の御降誕の時に、神さまのメッセージ伝達のツールとして聖書に記されています。

そして私には、アブラハムと同じように、数えきれないたくさんの星を見るために外へ出て、天を仰ぐようにと神さまが呼んでくださっているように思えます。

もう50年近くなりますが、「見上げてごらん夜の星を 小さな星の 小さな光りが ささやかな幸せをうたってる。見上げてごらん夜の星を ぼくらのように 名もない星が ささやかな幸せを祈ってる。」(歌：坂本九、作詞：永六輔、作曲：いずみたく)という歌がありました。

家から出て天を仰ぐと、ささやかな幸せを歌い、ささやかな幸せを祈っている名もないたくさんの小さな星に出会うことができるというのでしょうか。

この数年、教会、修道会から絶えず「自分から抜け出し、福音の光を必要とする辺境に勇気を持って出かけるよう」(参照 2017.10.22 世界宣教の日) 呼びかけられています。神さまの前に立ったアブラハムでありませんが、もう出かけて行くしかない、後ずさりができない境界線に立っているような気がします。すべてを神さまのみ手に委ね、聖マリアの導きのもと、教会学校の子どもたちとの関わりを大切にしながら「喜びと希望の小さな宣教者」として、子どもたち、そして皆さまとご一緒に幸せを分かち合える年であることを願います。

この三年目の初めにあたり、神さまの家族として輝いていらっしゃる皆さまお一人おひとりとご家族の方々の上にあらためて神さまの祝福と聖母マリアのご保護をお祈り申し上げます。また、サレジアン・シスターズ山中修道院の院長シスター南雲、合わせて13人のシスターからの新年のご挨拶を申し上げます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

こんにちは、こぴっとプロジェクトです

(山梨地区東北被災地支援プロジェクト)

○ボランティア行ってきました。(10月)

- ・担当 : 葦崎
- ・日程 : 10月10日(火)～12日(木)
- ・参加者 : 後藤夫妻(後藤照雄・允子)(塩山)
- ・場所 : カリタス石巻ベース

○ボランティア行ってきました。(11月)

- ・担当 : 富士吉田
- ・日程 : 11月27(月)～30日(木)
- ・参加者 : 宮澤 由美(甲府)、小沢 なをみ(塩山)
- ・場所 : カリタス石巻ベース

○東日本大震災をテーマにした講演会の開催予定について

2018年3月3日(土)・甲府教会サンタルチア講堂にて開催を予定しています。

皆さんの参加をお待ちしています。また、友人知人(一般の方々にも)へのお声がけもお願いします。

○10月に、ボランティアに参加された後藤照雄さん(塩山教会)より感想(ボランティアの活動報告書より)が寄せられました。

感想

後藤照雄

被災地を巡って気が付いたことは、

*前回5月のツアーの折に中に入れなかったがんばろう石巻の看板がある「南浜つなぐ館」の中に入る事が出来た。館内にはシアタールームが拡充されていて、また震災前の約1800世帯の街並みのジオラマ模型や写真、資料が展示されている。震災伝承の一つである語り部の継続が必要だが、民間運営で支えて行く為に、寄付をお願いしたいとのことでした。

民間資金で運営する姿勢に、感心させられた。

*携帯用便座開発について

今回計らずも、秋の紅葉狩り行きの為の準備をされていることに出会い、少々首を突っ込み

ましたが、滞在時間が足りず中途半端な結果に終わり、残念に思っております。唯々感心致しましたのは、殊に佐藤光典様をはじめ スタッフの皆様方の試作品実現のための議論と意欲に感動し、心より行事の成功を願っております。有難うございました。

聖 歌 隊

宮本礼子

12月6日（水）甲府教会の聖歌隊練習を、富士吉田教会聖歌隊5名が訪問して参りました。甲府教会では、毎週2時間練習し日曜日のミサの準備をしていらっしゃいます。

この練習に初めて一緒に、2時間集中して練習しましたので大変疲れました。私達にはとても足下に及びませんが、それでも定期的に集まって練習できるようになりました。これもひとえに松下シスターの、歌う人を支えたいとの熱心なお気持ちがあつてのことです。私達は音符を追うのに忙しく、言葉の意味に思いをはせ、心を込めて祈るように歌うのは程遠いのですが…、皆様とは、心を一つにして歌っていきたくと願っています。

新しい歌や、歌いやすそうな歌にもチャレンジ中です。是非とも、歌が好きな方、歌ってみたい方がいらっしゃいましたなら、一緒に参加して頂けたら幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。祈りを込めて！



平成29年「感謝と喜びの集い」報告

集いを始める前、日曜学校生に「集いの目的と献金先」を説明する機会を持つてました。その時のことです。「世界にはとても苦しくて、お腹を空かせて生活をしている子供たちがたくさんいます。」という私に、ベトナム出身の小学1年生から「ベトナムも苦しいよ」という発言があり、その言葉に心臓が止まるような衝撃を覚えました。「この少年は幼い澄んだ目で、現実の世界をしっかりと見ている。『世界の友のことを考える』この会を大切にしなければ。」と心を引き締めた私でした。

信徒の方々、修道院のシスター方、日曜学校生、富士五湖ダルクの方々、各々がそのタレントをいかんなく発揮され、加えてご近所の方々が今年も遊休品の提供をして頂き、当日は教会を訪ねて下さいました。久方ぶりのあたたかな日差しの中、和やかな会を催すことができました。

*遊休品・野菜 46,970 円、婦人部 20,800 円、お菓子 17,700 円、日曜学校飴つかみコーナー4,056 円。この金額に仕入 7,845 円を差引き、信徒有志野菜市の収益金 25,500 円を合わせ、**107,181 円**を国連 WFP（国際連合世界食糧計画）イエメン緊急支援口と日本ユニセフ アフリカ干ばつ緊急募金口へ献金させていただきました。

*壮年会のコーヒーコーナー 収益金 **1,800 円**は東日本大震災義援金に献金いたします。

多くのご協力に心からの感謝をすると共に、本年度いたらなかった反省点を踏まえ、来年もまた楽しい会を催したいと思っております。よろしくお願いたします。

感謝と喜びの集い実行委員 会計・江守

平成 29 年クリスマス献金ご報告



富士吉田教会「待降節及びクリスマス献金」は、ここ数年教会近隣の団体に寄付し、地域の方々のつながりを深める一助としております。本年は上吉田にあります精神障害者施設の「富士桜作業所」と、新倉にあります「富士五湖ダルク」に私たちの気持ちを贈らせていただくことになり、各々 20,000 円献金させていただきます。

地域の皆様と共に、和やかで暖かなクリスマスと新年を迎えることができますように・・・皆様の尊いお気持ち。誠にありがとうございました。

愛を証しする力を育てる共同体チーム・財務担当

教会委員会記録

12月3日 13名参加

- 12～1月の典礼について（こよみ参照）
- 「感謝と喜びの集い」の報告
 - ・この時期としては、暖かい天気にも恵まれ多くの方の参加者が来られた。
 - ・近隣の方々に、小松さんと遠藤さんが声掛けしたので来て頂きました。
 - ・ダルクの手伝いされた方の食事が足りなかった。
- 主の降誕祭、クリスマスパーティについて
 - ・司会者、葉山孝夫さん
 - ・食事はサンドイッチ、ミネストローネ、唐揚げ、飲み物（ジュース類、コーヒー）
 - ・会場づくり、ツリーの片づけ、コート掛けの準備
- クリスマス献金について
 - ・富士五湖ダルクと富士桜作業所へ届ける
- フードバンクについて
 - ・フードドライブの募金、食材の寄附が予定より大幅に少なかった。
 - ・今年の寄付期限を、12月17日（日）までとする。（来年は、11月から募集予定）
- 典礼聖歌の不足について
 - ・クリスマスには多くの参加が予想されるので、「クリスマスの集い」を改版する。
 - ・12月10日（日）内容確認し、12月17日（日）製版作業実施

教会記録

籍起こし・初聖体 ◎ ^{よしざわ} 吉沢 リョネル
初聖体 ◎ ゴウ アケロン ダキル
 ◎ ゴウ アカイウス ダキル

こよみ



1月

- 1日 (月) 神の母聖マリア ミサ10:30 世界平和の日 新成人の祝福
- 5日 (金) 初金曜日 ロザリオ10:00 ミサ10:30
- 6日 (土) こびっとプロジェクト甲府教会 10:30
- 7日 (日) 主の公現 ミサ9:30 教会委員会
(聖堂清掃は河口湖・都留地区)
- 8日 (月) 主の洗礼 (祝日)
- 10日 (水) 手芸会 9:30
- 13日 (土) 聖歌練習 9:30
- 14日 (日) 年間第2主日 子供と捧げるミサ 9:30
(聖堂掃除は日曜学校・河口湖・吉田地区)
- 21日 (日) 年間第3主日 国際ミサ9:30
(聖堂清掃はインターナショナル・山中・忍野地区)
- 25日 (木) 聖パウロの回心 (祝日)
- 28日 (日) 年間第4主日 世界こども助け合いの日 (献金) 9:30
(聖堂清掃は吉田地区)

金曜 10:00 ロザリオ 10:30 ミサ (5, 12, 19, 26日)

イタリア語教室 月曜10:00 (15, 22, 29日)

日曜学校 第2日曜 (14日) 主日のミサ後~11:40

2月

- 2日 (金) 主の奉献 (祝日) 初金曜日ロザリオ10:00 ミサ10:30
- 4日 (日) 年間第5主日 ミサ9:30 教会委員会

1月のミサ奉仕

月日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
7	東海林義夫	山本一孝	真彩	福永好雄	渡辺幹雄	堀内千鶴
14	曾根美香	栗原今朝夫	天翔	江守香代子		シスター
21	東海林美佐子	—	正人	英語	?	シスター
28	東海林美佐子	東海林義夫	真彩	志村好直	相沢千代子	シスター